

R7専門部会の取組

- ・課題が多様化していることを踏まえ、2つの部会を設置し、それぞれの部会で議論を展開
- ・現場を支える実務担当者（若手職員含む）が具体的・機動的に検討
- ・R7年度は「普及啓発部会」、「人材確保部会」の2部会体制で実施

各部会のテーマ

普及啓発 部会

【テーマ】福祉業界の魅力発信

- 参画団体が一体となって福祉人材集中PR月間の取組をより一層盛り上げていくためにはどうしたらよいか
(福祉の仕事の社会的評価を向上していくための企画等について検討)
- 一般企業が出展する就活イベント（合同説明会）に向け、これから入職を考えている求職者に向けて、
福祉の仕事を身近なものとして印象付けるために、どのようなアプローチが効果的か

人材確保 部会

【テーマ】多様な福祉人材の確保

学生、未経験者、潜在有資格者、外国人などの福祉業界への参入・参画促進に向け、多様な課題について議論を展開

(議題案)

- コロナ禍以降、減少している職場体験等の拡充
- 育児や介護事情等を抱える職員も安心して働くことができる職場環境の整備
- DXやタスクシェア・シフティングなど、生産性向上の更なる推進
- スポットワークや週休3日の導入など、働き方の多様化に向けた対応
- 介護福祉士や社会福祉士等養成校の定員充足率向上
- 東京都福祉人材センター事業の実施状況 等

本部会の目的

学生、未経験者、潜在有資格者、外国人などの福祉業界への参入・参画促進に向け、柔軟に課題設定を行い議論を展開

● 多様な福祉人材確保（議題案）

- コロナ禍以降、減少している職場体験等の拡充
- 育児や介護事情を抱える職員も安心して働くことができる職場環境の整備
- DX推進や外国人労働者の活用など高齢分野で進む人材確保策の横展開
- スポットワークや週休3日の導入など、働き方の多様化に向けた対応
- 介護福祉士や社会福祉士等養成校の定員充足率向上
- 東京都福祉人材センター事業の実施状況 等

スケジュール

第1回

令和7年7月30日（水）

【多様な福祉人材の確保に向けた取組①】

- 育児や介護事情を抱える職員も安心して働くことができる職場環境の整備
- 養成施設の定員充足率向上

第2回

令和7年10～12月（予定）

【多様な福祉人材の確保に向けた取組②】

- （議題案）
- 福祉現場における生産性及びケアの質の向上
- コロナ禍以降減少している職場体験等の拡充 等

第3回

令和8年1～3月（予定）

【多様な福祉人材の確保に向けた取組③】

- （議題案）
- 東京都福祉人材センター事業の実施状況
- 議論のまとめ、次年度以降に向けた検討

事業者団体向けに調査を実施予定

（「福祉現場における生産性及びケアの質の向上」に関わる内容を予定）

(参考) 各専門部会の構成団体

普及啓発部会

- 東京都高齢者福祉施設協議会
- 保育部会
- 児童部会**
- 知的癡呆障害部会
- 『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会
- 東京社会福祉士会
- 東京都介護福祉士会
- 市
- 町村

人材確保部会

- 東京都介護保険居宅事業者連絡会
- 身体障害者福祉部会
- 区市町村社会福祉協議会部会
- 東京都老人保健施設協会
- 全国保育士養成協議会
- 日本介護福祉士養成施設協会関東信越ブロック協議会 東京部会
- 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
- 東京都福祉人材センター**
- 特別区
- 東京労働局**

※R6からの変更点は下線太字